会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 令和2年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」（３）職業実践専門課程等に関する支援体制づくりの推進①社会的評価の一層の向上のための共通的基盤整備の推進 |
| 代表校 | 一般社団法人全国専門学校教育研究会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 第1回実態調査WG |
| 開催日時 | 令和2年9月14日（月）　13時00分～15時00分 |
| 場所 | オンライン会議 |
| 出席者 | 事業責任者：高岡 信吾 委　　　員：林　宏冶、岡村　慎一、山根　大助、川端　康浩、安田　実、古賀　稔邦　　　　　　　　　　　　 計7名オブザーバー：佐藤　昭宏、樋口　健、増子　卓矢　 　　　　計3名請負業者：飯塚　正成　　　　　　　　　　　　　　　　　　 計1名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　合計11名 |
| 議題等 | 1. WGリーダー挨拶（林）
2. 委員紹介（各委員）
3. 事業概要の共有（林）

・専修学校における自己点検・評価の結果の相互検証、共通的評価基準モデルの開発と運用①自己点検評価　　基準モデルの開発②第三者評価の情報整理③第三者評価　スタンダードモデル認証モデルの開発④情報公開促進・全体像の説明・質向上への取り組みの説明・今年度の取り組み　●スケジュール  ①自己点検・評価標準モデルプロトタイプ版（仮称）開発 ②第三者評価に関する実態調査（アンケート調査） ③第三者評価に関する実態調査（学校聞き取り調査） ●TO DO ①自己点検　実態調査効果的な改善活動に繋がっているか。 　ポイント:点検項目の標準化と効果的な改善活動が行なわれているか②第三者評価実態調査(情報整理） ・計画の説明2. 本年度実施事項（調査）に関する審議（林）・第三者評価アンケート項目案の説明　大項目として、①基本情報 ②自己点検評価について ③第三者評価について の3項目で作成。・自己点検評価について意見交換⇒活用方法、学校に役立っているか等確認・検討するために、約20校から自己点検評価の項目を抽出する予定。⇒アンケート結果と公開されているデータを照合しながら進める。⇒義務だからではなく、教育活動の改善にどのようにつなげていくか。理念、改善の仕組みの浸透が課題。⇒教育の質向上、学校の管理運営(アンケート項目No.18、19)が重要。・アンケートの際に、是正、改善など言葉の定義を掲載できると良い。3. スケジュール確認（林）・第2回実態調査WGは10月27日(火)13時～麻生塾（対面）にて開催。　※状況によってWeb会議併用1. その他

・対面開催時の移動の際はGoToキャンペーンの使用は禁止。（飯塚） |
| 配布資料 | ・事業計画書・全体管理ファイル・アンケート調査項目等検討 |

以上